

地球に優しいエコライフの確立に向けた 三市（登別・室蘭・伊達）広域連携による レジ袋削減に関する協定書を調印

平成20年7月1日に、市民会館で登別・室蘭・伊達三市の行政や消費者協会、三市内に店舗を構える9つの事業者（31店舗）により、協定店舗によるレジ袋の無料配布の中止とエコバッグの持参を促す『レジ袋の削減に関する協定』を締結しました。

レジ袋の無料配布の中止から実施1年後の調査では、約9割の方が、エコバッグを持参して買い物をしている結果となり、大きな成果を挙げています。

登別消費者協会では、このような取り組みに先立ち、平成15年から不要になった傘の布を使いエコバッグを作る講習会を実施し、店頭での啓発を図るなど環境問題についても先駆者的な役割を担っており、今後も活躍が期待されます。

■物価調査の徹底と諸調査研究
年間を通して灯油やガソリン、ガスの価格調査を行うほか、主要な食品の価格の調査を行い公表しています。

■消費生活相談の充実と悪質商法の根絶
悪質商法に遭わないための出前講座やトラブル解決のための助言・指導を行っています。

■地球に優しい省エネルギーの促進と再生品の利用
牛乳パックを利用した紙すきやそれを使用した絵手紙の作成、古傘の布を使用した工



▲エコバッグ講習の様子

コバッグ作り講習の実施、環境家計簿の作成指導など、省エネルギーの促進と再生品の利用を促しています。

あなたも参加しませんか

わたしたちの暮らしの中の商品は『安全でしょうか』『選んで買うことができるでしょうか』『誇大広告やうその宣伝はないでしょうか』『意見や苦情を聞いてもらえるでしょうか』

正しい知識や情報を生活の中に取り入れていくためにみんなが学習し、意見を出し合っていく場。これが『消費者協会』です。

皆さんも参加して『賢い消費者』になりませんか。



「これまでの活動を振り返り一言」

石油ショックによる物価の上昇や物資の不足、また、農薬の問題などが騒がれる中、昭和50年5月に連合町内会長や生活学校、消費生活関係者を中心に自主的に会を発足してから35年が経過しました。これまで、合成洗剤や食品添加物による人体への影響や安全性などについて学習し、啓発に取り組みとともに、牛乳パックのリサイクルやフリーマーケット、レジ袋の削減など環境分野にも取り組んでまいりました。

特に、レジ袋の削減に向けた取り組みは、近年のブームに先駆けて、古



インタビュー

Inter View 登別消費者協会会長 垣内 登紀子 さん

傘から作るオリジナルのエコバッグの講習や店頭での啓発活動にも努めてきました。

その結果、北海道洞爺湖サミットの開催を控えた平成20年7月に、『レジ袋の削減に関する協定』を締結するに至ったことは、近年の大きな成果だと思っています。

【今後の取り組みについて一言】
これまでの取り組みの充実を図るとともに、年々悪質で巧妙・多様化する悪質商法から市民を守るため、行政と協力して消費生活の相談体制の充実を図るなど、市民に頼られる団体を目指してさらに前進してまいります。